

桜井谷・桜井谷東・箕面自由学園小学校 校区

～今年度の活動～

- ① 年1回の各小学校での『幼保こ小交流会』（実施時期：1月～3月）
- ② 年2回の校区内幼保こ小教職員による『幼保こ小連絡会』（実施時期：6月、1月）

第二回の幼保こ小の連絡会では、豊中みどり幼稚園と豊中市立桜井谷小学校からの実践報告会が行われました。コーナー遊びや異年齢交流から、自然と小学校進学に向けて期待、楽しみが持てるようにしていることや、小一プロブレム解消のために遊び要素を取り入れた、体育科でのダンス運動の紹介など、学校園で実際に行われている取り組みを共有しました。

『連続』から『接続』へ

～遊びの中の『学び』を捉え、小学校へつないでいく～

本年度は「遊びが学びにどう繋がっているのか」、「子ども達の育ちを小学校にどう引き継いでいくのか」、それぞれの現状と思いを共有することから始めていきました。年間を通して、実践報告やグループ交流を行い、それぞれの学校・園の実情を知り、遊びと学びとの繋がりをより意識していきました。



『接続』に向けた一歩

今年度は、新型コロナウイルス感染症による規制も大きく緩和され、数年ぶりに幼保こ小の連携に関わる行事や連絡会を通常通り開催することができました。各小学校で行われた幼保こ小の交流会で、幼保この園児らは、小学1年生のお兄さん、お姉さんとの関わりの中で、小学校入学に向けて期待を大きく膨らませていました。

また、こうした交流ができなかった数年の間に、人と人との距離感の持ち方が大きく変わったり、小学校にはタブレットが導入されたりと、従来までとは違った形での活動を、各学校園が工夫を凝らし、実践していることが連絡会内で見えてきました。来年度からは、幼保こ小の教職員がより密に『接続』を意識していけるように、各学校園の教職員が相互に現場に赴き、子どもの実態把握に力を入れていきます。